

▼翌朝はグランドキャニ

オン沿いの観光を楽しむ。朝日にキャニオン北壁が耀いている。峽谷の底のコロラド川へ日差しが届くには少し時間が掛かる。夕日とは逆に北壁に当たる光が次第に底へと移る見事な大景観を満喫した。多くの観光客は散策したり乗馬などで、朝の時間をこの大景観の中で楽しんでいる。



グランドキャニオンの朝

雪片の遙かに落ちる大峽谷

午後、グランドキャニオンを後にして、64号線へ再び戻り、州間道路40号線を経由して93号線で北上する。障害物の無く、交通量も少ない礫漠の中を貫く直線一本道で、つい

ついスピードが上がる。違反車が多いために、時折り警察がヘリを使って上空を巡回しているのので、時速70マイルを越えれば、注意も肝心だ。単調な運転から来る眠気と疲れが襲って来る。三人の子供達は広い後部座席で夫々のおもちゃで遊んでいる。やがて、コロラド川下流のミード湖へ至る。

コロラド川は長さ2330kmに及び、アメリカ7州とメキシコ2州にまたがる流域を持つ。水源はロッキー山脈中央部、そこから南西に流れてコロラド高原を横切りグランド・キャニオンを刻み、アリゾナとネバダの州境ミード湖となる。ここからは南に流れて国境をゆき、やがてメキシコはバハ・カリフォルニア州とソノラ州の間でカリフォルニア湾の最深部の河口となる。コロラド川とその支流は広範囲にわたるダム・貯水池・水路で管理され、農業用灌漑と家庭用給水に利用され北米大陸南西部の四千万人の命を支える水源だ。そして、11箇所のみ国の国立公園がこの流域に指定されている。

コロラド川は上流から峽谷を削り取った岩や泥で濁り、ナイルの様にその流域へ豊か

な地味を運んできた。しかし、同様に、氾濫も多く、時には流域の村や田畑を壊滅させた。その暴れ川を治めたのが、1935年にブラック峽谷に作られたフーバーダムだ。そして、そのダム湖がミード湖だ。その貯水量は琵琶湖の1.5倍近く、当時の日本の全ての発電用ダムの貯水量の1.7倍ある。到着時間が遅すぎて、ダムの見学ツアーには参加できなかったが、水力発電の巨大な佇まいと、その人工湖にこの国の豊かさを見る。ダムは高さ221m、幅379mのアーチ型ダムで、州境となるこのダムの上壁路の中央で時差を一時間また太平洋時間帯へ戻す。

ダムから一時間のドライブでラスベガスに到着して、この日は再びここで宿を取った。

冬うらら牙を抜かれし暴れ川

ラスベガスはカジノとショウとで成り立つ砂漠に出来た町、そこでの灯りはフーバーダムの水力発電でたつぷりと24時間、年間を通して供給される。子供はカジノへ入ることは禁じられているので、我々は夕食ついで

に、スロットルマシンやルーレット、ブラックジャックの卓を遠くから眺めるだけだ。ここでは、宿も食事も安い。カジノの利益が町を潤している。ネバダ大学にはカジノ経営を学ぶ専門コースもある。

子供が楽しめるシヨウ「サーカス&サーカス」を見てから、昼間の様に明るく、カジノが軒を連ねる旧市街を歩き、ゴールドラッシュ時代の大きな金塊を覗いたりした。私はCEシヨウ（家電展示会）で何度も



ラスベガスの旧市街

この街を訪問しているので、家族で楽しむ場所を探すのに苦労はしない。面白いのはウェディングチャペル。ネヴァダ州法では、簡単な手続きで結婚や離婚が出来るらしく、小さな教会があちこちで遠慮がちにネオンを点滅させて、簡素な結婚、離婚の式を望む顧客を誘う。些か妖しげな雰囲気のある街でもある。

教会の誘うネオンや十二月

▼翌日は「死の谷」を目指す。乾燥した砂漠で人が決して住むことが出来ない過酷な谷だ。真夏は摂氏50度は普通とか、米国での最高温度、摂氏56度を記録したと言う。夏は車でも谷へ入るのは危険だ。かつては幌馬車で西海岸を目指した開拓者たちにとって最後の難関だった。ゴールドラッシュのカリフォルニアへ近道を狙ってこの谷に入ったまま、暑さと水欠乏で何

人も死者が出た事からこの名前がある。この谷でも局所的なゴールドラッシュが幾度となく発生し、いくつもの街が生まれて、そして、消えた。



デスヴァレー

冬は比較的快適なのだが、涸れた川や亀裂のある丘などが異様な雰囲気醸し出している。最も低い場所は海拔マイナス200mで、塩が一面に残っているのが見える。案内センターにはそれまでの歴史と共に、ガラガラ蛇

やトカゲなど過酷な砂漠の生き物の写真や標本が展示されていた。「死の谷」から抜け出して一気にロスへ戻り、その晩は久々に日本食を摂った。

冬ざれや砂漠に風の音かすか

河涸れの塩の砂漠や朽ちし馬車

▼翌日はリトル東京などを見物した。19世紀末に日本人がこの地に移住し、漁民の茂田浜之助が日本食店を開店以降、日系人が居住が進み、日系児童の為の学校も出来た。これがリトル東京の発祥の基礎となった。20世紀になって人口は増加して栄えたが、第二次世界大戦時には日本人は強制収容所に送られて、ゴーストタウン化した。戦後に戻った日系人達の努力で復興を果たし、ここから全米へスシの文化が始まったされる。

LA空港でレンタカーを返却すれば、走行距離は3500kmとなっていた。空港内はクリスマス休暇での移動などで大混雑だった。

(続く)